

梅野節女 つめの せつな 俳人。明治十八年十一月三日島根縣松江生れ、昭和十五年五月一日歿（二八五—一九四〇）。舊姓鈴江。島根縣女子師範學校卒業後、各地の小學校で教職。大正十五年まで教職。札幌時代の昭和五年、來道の室積徂春の會に入門、久田素帆の指導を受け、句作を始め、十一年俳誌『ゆく春』選者となりた。遺句集『若の花』（昭和十五年十一月）二十五日ゆく春發行所）。

